

## ボランティア活動に参加して

2月12日(土)にいおし神社にて、16名の生徒がボランティア活動に参加しました。地域の方々のサポートのもと、5年ぶりに桜の植樹を行いました。最近、地域活動に参加する生徒が増えて嬉しい限りです。穴を掘り、苗を植え、肥料をやり、水をまいた自分の桜。これからもずっと見守ってほしいものです。作業後、カレーをいただきました。とてもおいしかったです。ご苦労様でした。



## 学校の掲示板

保健室の掲示物はいつもタイムリーなことを掲示してくれます。今回は、節分にちなんで、鬼と福を登場させながら、感染症について、クイズ形式で注意喚起を促しました。また、野球部の部活動掲示板はいつも、練習試合や大会の結果が書かれており、いつも見るのが楽しみです。さらに、玄関は教頭先生が生徒たちの頑張りをしっかりと掲示しています。新鮮な掲示物です。



## 環境整備員の皆さんに感謝

環境整備員の皆さんには、学校の周りをいつもきれいにさせていただいています。今は、卒業式の花(ペチュニア)作りで大忙しです。防鳥のためのCDを吊したり、ネットを張ったり、日当たりを気にしたり・・・本当に頭が下がります。生徒たちはなかなか作業風景を見ることはできませんが、卒業式の花を見たときに、しっかりと「どうやってこの花がここにあるのか」振り返らせたいと思います。



## 立志式の連凧



立志式のため12月から準備をした連凧。10日は午前中の雨から一転、午後は晴れという奇跡!木村つづく氏の応援のもと、生徒の希望を乗せた連凧が空高く舞いました。



## 湯川先生・矢野先生おめでとうございます!

湯川先生は、日本教育公務員弘済会宮崎県支部の研究論文、矢野先生は日南市教委の教育論文でともに表彰されました。おめでとうございます!



### 飫肥中学校ホームページ

インターネットで飫肥中HPを検索していただくと、生徒や職員、環境整備の方々についてなど、いろいろなことが分かります。ぜひ、ご覧ください。

## 時代遅れの校長から・・・

今どき、根性とか気合いとかいう言葉はダサくて嫌がられるワードになってしまいました。そんな言葉を大切にする時代遅れの校長(私ですが・・・)が「ねばり強い子」について思うことは・・・

- 人の一生を決めるのは、知力ではなく、その人の気力と体力だと思う。
- 「頑張ったぞ」「よくやった」という親や教師の言葉が子どもを勇気づける。
- 涙の中から気力が、汗の中から体力が生まれる。
- 走っては転び、転んでは起き上がる。これを繰り返しながら、気力と体力をつけさせたい。
- 痛さをこらえて起き上がった時は、「よく頑張ったな」と励みたい。
- 我慢することを通して、選択する眼や比較する力、ものを大切にする態度を養いたい。
- 小さなことでも、やり遂げた時は褒めて喜びを味わわせたい。

偉そうなこと書きましたが、自分がそうしているかと言うとまだまだです。恥ずかしながら。